

Weekly Report



令和7年9月16日(火)

第2212回例会



作者の言葉
我が百合丘ロータリークラブの例会は、いつも温かい雰囲気の中で、互いに支え合い、励まし合っている。この例会でも、皆様のご参加を心からお待ちしております。皆様のご参加を心からお待ちしております。

◆ 会長／山口 篤 ◆ 幹事／玉井 智春 ◆ 会報／中島 眞一

● 例会日 毎週火曜日 12:30～13:30
● 例会会場 ホテルモリノ7F TEL 044-966-1300

● 川崎百合丘ロータリークラブ ホームページ
<http://www.kawasaki-yurigaoka-rc.jp/>

第2212回例会記録 令和7年9月16日(火) 10/46回

<点鐘>

山口会長

9/30(火)

<ソング> 四つのテスト

クラブ奉仕プロジェクト委員会報告・会員増強

移動例会 清掃活動 16:00～

<お客様ご紹介>

山口会長

集合 麻生警察署前交差点

国際ロータリー第2590地区ガバナー 川崎北RC
大塚正一様、国際ロータリー第2590地区地区副幹事
川崎北RC 土田高記様、国際ロータリー第2590地区
第3グループガバナー補佐 川崎麻生RC 大野勉様、
国際ロータリー第2590地区地区クラブ管理運営委員
川崎高津RC 小山泰介様

夜 会 点鐘17:30

マハロガーデンテラス(旧アサオガーデン)

※ポロシャツの着用をお願いいたします。

10/7(火) 委員会(セミナー報告)財団委員長

10/14(火) クラブ協議会

夜間移動例会 点鐘18:00 ボンダイズ

<会長報告>

山口会長

1. 2026-27年度ロータリー青少年交換学生応募期間
変更のお知らせ

変更前 8/13(火)～10/3(金)

変更後 8/13(火)～10/7(火)

2. 2025-26年度国際ロータリーゾーン1・2・3第54回
ロータリー研究会と関連行事へのお誘い

11/17(月)～20(木)

3. 第60回神奈川県ロータリアン親睦テニス会の案内
11/16(日) 13:00～ 湘南ローンテニスクラブ
MIKICHI TRATTORIA

4. 第79回赤い羽根共同募金運動への協力お願い

<幹事報告>

玉井幹事

* 当クラブ例会・案内

9/23(火) 定款細則による休会

<ニコニコ委員会>

北島裕斗委員

国際ロータリー第2590地区ガバナー 川崎北RC 大塚正一様→「本日は公式訪問にお伺いさせて頂きました。貴クラブの皆様のご支援とご協力を頂き、地区50クラブと、3アクトクラブの益々の発展の為に努力をしてまいります。本日はよろしくお願い致します」。国際ロータリー第2590地区地区副幹事 川崎北RC 土田高記様→「本日はガバナーのお供で参りました。どうぞよろしくお願い致します」。国際ロータリー第2590地区第3グループガバナー補佐 川崎麻生RC 大野勉様→「本日はガバナー公式訪問に同行で来ました。宜しくお願いします」。国際ロータリー第2590地区地区クラブ管理運営委員 川崎高津RC 小山泰介様→「本日、ガバナー公式訪問どうぞ宜しくお願い致します」。当クラブより、山口会長→「国際ロータリー第2590地区ガバナー大塚正一様、国際ロータリー第2590地区地区副幹事 土田高

第2214回 10月7日 委員会報告

第2215回 10月14日 クラブ協議会

第2216回 10月21日 招聘卓話

※諸事情により、スケジュールは変更になる場合があります。

記様本日はよろしく申し上げます」。玉井幹事→「国際ロータリー第2590地区第3グループガバナー補佐 川崎麻生RC 大野勉様、国際ロータリー第2590地区クラブ管理運営委員 川崎高津RC 小山泰介様、本日はどうぞ宜しくお願い致します」。以下、感謝をこめてニコニコへ。安藤亨会員、安藤美恵子会員、府川会員、福家会員、土井会員、平岡会員、井上勇会員、石貝会員、伊藤久史会員、伊藤暁志会員、鴨志田敏彦会員、鴨志田新会員、菊池会員、小島会員、小塚会員、松野会員、森会員、永田会員、中島眞一会員、中島健児会員、中村会員、大野会員、大矢会員、親松会員、嵯峨野会員、左藤会員、嶋会員、白井会員、菅会員、鈴木清会員、俵会員、渡邊会員、北島裕斗会員。

<出席委員会>

渡邊委員

	会員	出席	欠席	マーク	出席率
第2212回	51	35	16		68.63%
第2211回	51	35	16	3	74.51%

<ニコニコ・財団・米山委員会>

	今回		累計	
ニコニコ	39件	58,000円	353件	411,000円
財団	0件	0円	9件	118,000円
ベネファクター	1件	147,000円	1件	147,000円
米山	1件	20,000円	13件	144,000円

<ロータリー財団委員会>

土井委員

山口会長→「ガバナー来訪を記念して」。

<米山奨学委員会>

小塚委員長

小塚会員→「ガバナー来会を記念して!!」。



本日のプログラム

<ガバナー公式訪問>

国際ロータリー第2590地区第3グループガバナー補佐 大野勉様より大塚正一ガバナーのご紹介

大塚ガバナーは1957年(昭和32年)1月、横浜市にお生まれになり、現在68歳です。1984年に上智大学を卒業されました。留学経験を通じて語学に興味を持たれ、印刷会社勤務を経て、家電製品の取扱説明書を多言語に翻訳する「株式会社マインドウェア」を設立。長年にわたり国際的な事業を展開してこられました。

国際ロータリー第2590地区第3グループガバナー

大塚正一様

2025-26年度地区行動計画

「ロータリーの基本に根差した『ロータリーのビジョン声明』の追求」

皆さんこんにちは。本年度ガバナーを仰せつかりました大塚正一と申します。本日はガバナー公式訪問ということで地区の行動計画の説明をさせていただきます。メインはロータリーの根本とは何かということについてお話しします。誕生日が1月1日で、かつ長男であったので、父親が「正一(しょういち)」と名付けました。父親の仕事の都合で、小学校4年の時に横浜に引っ越してきました。高校は相模原市にある東海大学附属相模高等学校に入学しました。高校ではアーチェリー部に入部しました。練習は厳しく、4月に入部した60名が夏合宿が終わった時には10名に減っていました。

卒業後は、そのまま東海大学に進学せず、1978年に渡米、ボストン大学入学しました。2年半後に帰国を決意し、その年に上智大学外国語比較文化学科に入学しました。

さて、自己紹介はこのくらいにして、本題に入ります。今年2月に開催された国際協議会では、「ロータリーの行動計画」を継続して推進し、会員増強を成し遂げ、「ロータリーのビジョン声明」を達成する、ということで、「ロータリーの行動計画」をより具体的に実践するためにはどうしたらいいかということセミナー形式の講義で学び、その後仲間同士でディスカッションするという形で話し合ってきました。

さて、ロータリーの行動計画とは以下の4つの指針です。そのひとつずつを1日のテーマとして話し合いました。

- 「より大きなインパクトをもたらす」(ここでの「インパクト」とは「持続的な有効性がある」という意味)
- 「参加者の基盤を広げる」
- 「参加者の積極的なかわりを促す」
- 「適応力を高める」

これらは、ロータリーの中核的価値観「奉仕、親睦、多様性、高潔性、リーダーシップ」を会員に、そしてクラブに定着させ、かつ世界や地域社会で持続可能な変化を生むことを目指すために、ロータリーの会員が行動する指針です。それを再認識する目的が国際協議会でした。

国際協議会初日のマリオ元RI会長エレクトが発表したスピーチは「会員増強と活性化に向けたロードマップ」ということで内容は以下のようなものでした。

- ①ロータリーの最大の財産は会員である。会員増強が何をおいても重要である。
- ②その最も価値ある財産(会員)を増やすには Innovation, Continuity, & Partnership (革新、継続性、パートナーシップ)という3つの要素が不可欠。
- ③会員増強こそがロータリーを活性化し、団結させる。
- ④その団結が「ロータリーのビジョン声明」で目指す世界や地域社会で持続可能な良い変化を世界に生み出す

しかし、マリオRI会長エレクトは6月初旬に突然辞任してしまいました。それを受けてフランチェスコ・アレツォ氏が新RI会長として就任されることが6月中旬に決まり、また、マリオ氏のメッセージである「Unite For Good (よいことのために手をとりあおう)」はそのまま継続と発表されました。

そして新年度の始まりの7月1日にアレツォ新RI会長の所信声明が発表されました。それはマリオ氏のメッセージに基づいた内容であり、Innovation, Continuity, & Partnershipを違う形で説明されています。

さて、いよいよ2025-26年度地区行動計画(方針)を語らせていただきます。

まず、「ロータリーの基本」とは何か？

それは今は歴史的な文章という事になっている「決議23-34」であることに間違いありません。我々日本のロータリアンにとっては「ロータリーは、1つの人生哲学であり、利己的欲求と利他の気持ちのバランスを調和するものである」という考え方は特に大切にされてきました。そこには「超我の奉仕」と「最もよく奉仕する者、もっとも多く報いられる」というロータリーの大切な考え方(モットー)も述べられています。

そして、それを実践するための行動規範と方向性を示すのが。次の3つの文章(文献)です。

- ロータリーの目的(旧「ロータリーの綱領」)
- 四つのテスト
- ロータリアンの行動規範

それらの文章の中で伝えられていることは、ロータリー哲学を具現化するために、「奉仕の理念」と「中核的価値観」(判断や意思決定の基準となる価値観)を大切にすることではないでしょうか。

「奉仕の理念」を「他人への思いやりと助け合い」と理解すると、すなわち「ロータリーの目的」は次のように解釈することができます。

それは「会社の基盤を支える基本姿勢(経営理念、社員教育、職業奉仕)として『他人への思いやりと助け合い』の気持ちを組織内に定着させ、その気持ちを力強く育てあげる」ということです。

では、職業奉仕とは何か？ 非常に簡潔に説明している映像があります。

- 世界は誰かの仕事でできている
- 職業は関連し、世界に貢献！
- 他人のためにが、自分に自身に

職業奉仕に対する考えは様々ですので、皆さんそれぞれがお持ちの考えがあると思います。しかし、職業奉仕こそがロータリーの根幹であると言っても、反対する方はいないと思います。

以上の事を「ロータリーの根本」として、それに根差して、以下の10項目を実行して頂きたいというのが今年度の地区活動方針としてのお願いです。

- ①ロータリーの存在意義とロータリーの提供する機会の再認識
社会に「ロータリー」という組織が存在できるのは何故かを探り、その組織の中で自分の存在意義、自身の立ち位置を見つけてください。
- ②My Rotaryの登録
登録した後は活用することが大切です。
- ③ロータリーの行動計画を指針とした3年目標(3-Year Rolling Goals)の設定・実施
- ④地区開催のイベントおよびラーニングセミナーに積極的に参加
- ⑤RI主催のイベントに積極的に参加
- ⑥青少年関係のイベントに積極的に参加
- ⑦ロータリーの国際交流プログラムを支援
ロータリー財団への寄付、米山記念奨学会への寄付を例年通りお願いします。
- ⑧地区同好会へ積極的に登録・参加

⑨『ロータリーの友』の積極的な活用

⑩正しいロータリーロゴを、正しく使用

ロータリーのブランディングを全世界に確立するためにご協力をお願いします。

以上の10項目をまとめると、① ロータリーを学び、② ロータリーに参加し、③ ロータリーを支援し、④ロータリーを愉(楽)しまししょう、という4つのお願いになります。

地区やクラブの活動に進んで参加してください！

仲間が増え、よりロータリーが愉(楽)しめるはずです。

<点鐘>

山口会長

点鐘後記念撮影が行われました。

